

日本情報科教育学会第3回全国大会

第3回全国大会実行委員長
日本情報科教育学会理事
日本大学教授 夜久 竹夫

1. はじめに

日本情報科教育学会は2007年12月に設立された、「情報」の教科教育を専門とする初めての学会である。第1回の全国大会は2008年6月に滋賀大学で開催され、第2回全国大会は九州工業大学で開催された。

前回の第2回全国大会は、平成25年に始まる新カリキュラムの学習指導要領の公示に伴い、今後向かう第2ステージの方法と内容を展望した。

今回は、新学習指導要領解説の発表に合わせて、新カリキュラムによる第2ステージの情報科教育への対策を練った。同時に、第1ステージで実行できなかった問題点などに注目して、第2ステージの実際の運用方法などへの提言を試みた。

今回の第3回全国大会は、「情報科教育の現在と未来」を大会テーマとして、東京都世田谷区の日本大学文理学部で開催された(写真1)。初めての東日本の大会となった。

大会は、2010年6月26日(土)と27日(日)の2日間にわたって開催され、2日間で延べ298名の参加があった。協力した学生などを含めると、総計で延べ429人の参加があった。いずれも過去最多であった。本稿ではその大会の様子を説明する。

2. 大会の概要と特徴

第3回全国大会は、表1の概要のように開催された。

(1) 今回の全国大会の特徴は以下のとおりである。

- ・ポスターセッションを設けて発表形態と分野を多様化させ、発表件数の増大を図った。
- ・論文賞を設定して、発表の奨励と活性化を図った。

表1 全国大会の日程とプログラム概要

テーマ「情報科教育の現在と未来」	
日時	2010年6月26日(土) 9:30-17:00 6月27日(日) 9:30-16:30
場所	日本大学文理学部
主催	日本情報科教育学会
共催	日本大学文理学部
後援	文部科学省、経済産業省、 全国高等学校情報教育研究会ほか
第1日：6月26日(土)	
9:30-11:45	研究発表Ⅰ
14:00-14:05	挨拶 夜久竹夫(大会企画委員長・実行委員長、日本大学教授)
14:05-14:10	挨拶 紅野謙介(日本大学文理学部次長)
14:10-14:40	基調講演 岡本敏雄(本学会会長、電気通信大学大学院教授)
14:40-15:20	招待講演Ⅰ 斎藤晴加(文部科学省生涯学習政策局参事官)
15:30-17:00	特別企画
第2日：6月27日(日)	
9:30-11:45	研究発表Ⅱ
13:00-14:00	研究発表Ⅲ
14:20-15:00	招待講演「情報科学技術は人類の言葉」 渡辺 治(東京工業大学教授)
15:10-16:30	パネルディスカッション テーマ：“情報の科学”に期待されるもの 司会 土田賢省(東洋大学教授)



写真1 全国大会の会場（日本大学文理学部）

・前回と同様に、開催地近隣の高等学校情報科教育研究会、教育委員会などの協力を得て、協力関係を築いた。

(2) 学会は以下のように運営された。

2日間の大会期間中、2件の招待講演と1回のパネルディスカッションを開催した。また、60件の一般講演の申し込みと、4件の企画セッションの申し込みをいただき実施した。

今回の新たな試みであるポスターセッションでは10件の発表があった。今回のポスターセッションは授業事例・支援システムの実施事例などや研究途上のテーマなどに重点を置き、現場の先生方の発表の機会を増やすことを計画した。

また、優秀な発表論文には論文賞を授与して表彰する。現在数件の表彰を目指して選考作業を進めている。

大会実行委員は関東の小学校から大学までの教員を中心に組織した。実際に情報科教育に携わっている人を多くするようにして、半数を小・中・高校の教員と、大学で情報科教育法を担当している教員とした。

3. 基調講演と招待公演

基調講演は、本学会の岡本敏雄会長により、「情報科教育学の学術的確立に向けての条件」の題目で行われた。

Japan as No.1の時代は過去、という認識の下

で、現在と将来の日本における情報科教育と情報科教育学の重要性を指摘された。

招待講演は2件行われ、1件目は文部科学省の齋藤晴加参事官による

「教育の情報化推進施策等について」

であった。参事官は「新たな情報通信技術戦略」（平成22年）や「新成長戦略」（平成22年）など国の最新の動向に関連させて、学校の情報化推進施策について述べられた。

2件目は、東京工業大学の渡辺治教授による

「情報科学技術は人類の言葉」

であった。教授は情報処理一般をあらわす「計算」の概念を中心に据えられて、「全ては計算」という考えを教えることの重要性和有用性を説明された。その中で森羅万象を計算で捉える考えや、計算世界観の概念などを説かれた。

いずれも多数の参加者を得て盛況だった。

4. パネルディスカッション

以下のように行われた。はじめにパネリストがそれぞれのテーマでプレゼンを行い、その後で活発に質疑応答が行われた（写真2）。

テーマ：“情報の科学”に期待されるもの

司会：土田賢省（東洋大学）

パネリスト：渡辺 治（東京工業大学）

情報の科学に期待される理念

夜久竹夫（日本大学）

「情報の科学」がめざす情報教育活用 実践に科学はマッチしないのか？

中村直人（千葉工業大学）

「情報の科学」がめざす情報教育 国際比較の視点から

本田敏明（茨城大学）

“情報の科学”に期待されるもの

情報活用の実践力に偏らない情報教育へ

佐藤義弘

（東京都立東大和高等学校）



写真2 パネルディスカッションの会場

5. 企画セッション

1日目の午後、パラレルセッションの形式で企画セッションを開催した。

【特別企画1】A会場

テーマ：情報学教育のロードマップ

—中長期的な展望として—

コーディネータ：松原伸一（滋賀大学）

司会：特別企画を開催するに当たって

情報学教育推進特別委員会・委員長

松原伸一（滋賀大学）

挨拶：日本情報科教育学会・会長

岡本敏雄（電気通信大学）

アドバイザー：

真の情報活用能力を身に付けさせる日本型情報教育

永井克昇視学官（文部科学省）

パネリスト：

情報学教育推進と情報科の役割

情報処理学会・情報処理教育委員長

笈 捷彦（早稲田大学）

教育システム情報学会の立場から

教育システム情報学会・副会長

福原美三（慶應義塾大学）

紙と鉛筆から始める新しい情報“学”教育

—言葉と体験，習得と探究をつなぐ

「活用する力」を高めるために—

情報学教育研究会附中・研究主任

河野卓也（滋賀大学教育学部附属中学校）

【特別企画2】D会場

テーマ：情報科教育の国際情勢

コーディネータ：本田敏明（茨城大学）

中條道雄（関西学院大学）

【特別企画3】B会場

テーマ：

新課程の情報科をどのように導入するか

—教育課程と高大接続—

コーディネータ：西野和典（九州工業大学）

企画・実施：企画委員会

司会：西野和典（九州工業大学）

指定討論者：高橋参吉（千里金蘭大学）

パネリスト：

次期教科「情報」大学入試導入の可能性と

出題方法の提案

天良和男（東京都立日比谷高等学校）

共通教科「情報」学習指導要領解説で具体的に

示されたこと—現場の視点から，教育課程・授

業計画の具体案を探る—

佐藤万寿美（兵庫県立西宮今津高等学校）

【特別企画4】C会場

テーマ：小中学校の情報科教育

コーディネータ：宮寺庸造（東京学芸大学）

司会：宮寺庸造（東京学芸大学）

講演者：

小学校における情報教育の現状

牧山華実（松戸市立横須賀小学校）

アンプラグドによる情報科学教育

兼宗 進（大阪電通大学）

韓国における小・中学校コンピュータ教育の

現状と実践事例

青木浩幸（高麗大学校大学院）

全 珠美（東京学芸大学）

情報オリンピックにおける海外の情報科の現状

谷 聖一（日本大学）

これからの情報社会と情報科教育における

IT企業の役割

村松祐子（富士通株式会社）

教育の情報化を先導できる小学校教員養成を目指したカリキュラム

加藤直樹（東京学芸大学）

宮寺庸造（東京学芸大学）

6. 一般講演

以下の各セッションで4件、合計60件の講演が行われた（表2）。

表2 一般講演の内容

6月26日(土) 9:30~12:00	
26A1	教材1 A会場（国際会議場）9:30~10:30 座長：山崎浩一（群馬大学）
26A2	教材2 A会場（国際会議場）10:45~11:45 座長：栗田るみ子（城西大学）
26B1	システム開発1 B会場（会議室2）9:30~10:30 座長：西野和典（九州工業大学）
26B2	システム開発2 B会場（会議室2）10:45~11:45 座長：高橋参吉（千里金蘭大学）
26C1	プログラミング教育1 C会場（会議室1） 9:30~10:30 座長：土田賢省（東洋大学）
26C2	プログラミング教育2 C会場（会議室1） 10:45~11:45 座長：山上通恵（兵庫県立社高校）
6月27日(日) 9:30~16:30	
27A1	科学的理解1 A会場（国際会議場）9:30~10:30 座長：西野哲朗（電気通信大学）
27A2	科学的理解2 A会場（国際会議場）10:45~11:45 座長：海野浩（神奈川工科大学）
27B1	実践・事例1 B会場（会議室2）9:30~10:30 座長：中村直人（千葉工業大学）
27B2	実践・事例2 B会場（会議室2）10:45~11:45 座長：松原伸一（滋賀大学）
27C1	教育方法1 C会場（会議室1）9:30~10:30 座長：森本康彦（東京学芸大学）
27C2	教育方法2 C会場（会議室1）10:45~11:45 座長：後藤貴裕（東京学芸大学附属高校大泉校舎）
27A3	問題解決A会場（国際会議場）13:00~14:00 座長：小林貴之（日本大学）
27B3	情報モラル・著作権B会場（会議室2） 13:00~14:00 座長：有田友和（桜美林大学）
27C3	高大連携C会場（会議室1）13:00~14:00 座長：鹿野利春（石川県立金沢二水高校）

7. ポスターセッション

10件の発表が行われた。会期中展示されて、発表者とのディスカッションが行われた（写真3）。



写真3 ポスターセッションの会場

8. 企業展示

11件（10社）の展示が行われた（写真4）。



写真4 企業展示の様子

9. おわりに

会場における企業展示や講演論文集への広告掲載などで、多くの企業の協力をいただきました。また、会場提供や設備の提供、会場設営、開会支援などで、日本大学文理学部をはじめ、多くの企業、団体のお世話にもなりました。さらに、多数のボランティア学生たちの支援を受けました。この場を借りて謝意を表します。